

問1 鉄道の運賃や水道料金などの「公共料金」が、国や地方公共団体によって管理されている主な理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2019年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 市場の需要と供給のバランスを完全に無視して、特定企業の赤字をすべて税金で補填するため。 | 2. 国民生活の安定を図り、生活に不可欠なサービスを適正かつ安定的な価格で供給するため。 | 3. 特定の民間企業が利益を独占し、国へ納める法人税の額を最大化させるため。 | 4. 国際的な取引において、日本国内の物価を海外の物価と一致させるように調整するため。 |
|--|--|--|---|

問2 市場において、天候不順などの影響により商品の供給量が減少し、それを買いたいと願う需要量が供給量を上回った際、その商品の取引価格は一般的にどのような変化を見せますか。（2016年 滋賀公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------|-------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| 1. 商品の希少価値が高まるため、価格が上昇する | 2. 商品の流通が停滞するため、価格が下落する | 3. 消費者の購買意欲が低下するため、価格は変動しない | 4. 生産者の損失を補填するために、政府が価格を一定に固定する |
|--------------------------|-------------------------|-----------------------------|---------------------------------|

問3 近年の日本で行われている行政改革では、経済活動のルールを抜本的に見直す「規制緩和」が推進されています。この背景にある考え方について述べた次の文のうち、適切なものはどれですか。（2020年 愛媛公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------------|--|---|--|
| 1. 独占禁止法を強化し、すべての企業の利益を国が均等に配分するため。 | 2. 行政の役割を縮小し、市場原理に基づいた自由な経済活動を促して経済の効率性を高めるため。 | 3. 公共の福祉を実現するために、すべての主要産業を国営化して行政が管理するため。 | 4. 企業の過度な競争を抑えるために、国が価格や生産量を厳格に指定するため。 |
|-------------------------------------|--|---|--|

問4 私たちの経済生活において、企業間の自由な競争を促し、一部の企業による不当な取引制限や市場の独占を防ぐことで、消費者の利益を確保することを目的として制定された法律を選択肢から選びなさい。（2021年 奈良公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|------------|-----------|-----------|
| 1. 独占禁止法 | 2. 中小企業基本法 | 3. 消費者基本法 | 4. 製造物責任法 |
|----------|------------|-----------|-----------|

問5 為替相場が1ドル=100円から1ドル=120円に変動した際、日本国内の輸入企業が1,000ドルの商品を買い付ける状況について、正しい説明はどれですか。（2018年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 円安の状態であり、支払額は変動前より2万円増える | 2. 円安の状態であり、支払額は変動前より2万円減る | 3. 円高の状態であり、支払額は変動前より2万円増える | 4. 円高の状態であり、支払額は変動前より2万円減る |
|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|

問6 一般的な流通経路では、商品は生産者から卸売業者を経て小売業者に届きますが、近年では小売業者が卸売業者を通さずに生産者から直接買い付ける「直接取引」が見られます。小売業者がこのような流通経路を選択する主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 愛媛公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 流通コストを削減することで、商品の販売価格を抑えたり、商品の鮮度を維持したりするため | 2. 卸売業者が担っている商品の仕分けや保管の機能を、すべて生産者に負担させるため | 3. 全国各地の特産品を、季節に関係なく一年中安定して店舗に供給するため | 4. 消費者が生産者に対して、商品の品質改善を直接要求しやすくするため |
|---|---|--------------------------------------|-------------------------------------|

問7 ある野菜の流通状況を調査したところ、4月から5月にかけて産地からの入荷量が急増した際、市場での取引価格が大幅に下落していることが確認されました。このような価格変動が起こる背景にある、供給と価格の関係についての説明として最も適切なものはどれですか。（2016年 長野県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 供給量が増えることで商品が手に入りやすくなり、買い手が高い価格を支払う必要がなくなるため、価格が下落する | 2. 供給量が増えることで生産者の利益が最大化されるため、消費者に還元する目的で価格が引き下げられる | 3. 供給量が増えると、それに応じて消費者の需要も必ず同じ割合で増加するため、価格は常に一定に保たれる | 4. 入荷量が多い時期は、政府が物価を安定させるために介入し、強制的に価格を引き下げられる仕組みになっている |
|---|--|---|--|

問8 消費者庁が実施した「消費者意識基本調査」の結果に基づき、現代の消費者が商品やサービスを選択する際の傾向について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。なお、この調査では価格や機能、安全性といった要素に加え、企業の発信する情報や他者からの評価が比較されています。（2016年 高知公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 企業が提供する広告やブランドイメージよりも、SNSや口コミなどによる他者からの評判をより強く意識して判断する傾向がある。 | 2. 大規模な広告やブランドイメージを「常に意識する」と答えた層が最も多く、他者からの評判を参考にする層は減少している。 | 3. 消費者は商品の安全性や機能を重視しなくなり、企業のブランドイメージのみを唯一の判断基準とするようになっている。 | 4. 広告やブランドイメージなどの企業情報は全く参考にされなくなり、価格の安さだけが購入の決定的な要因となっている。 |
|---|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 国民生活の安定を図り、生活に不可欠なサービスを適正かつ安定的な価格で供給するため。	鉄道、水道、電気、ガスなどのサービスは国民生活の基盤（インフラ）であり、これらが極端に値上がりしたり、供給が不安定になったりすると、社会全体が大きな混乱に陥ります。そのため、公的機関が認可制などを通じて価格をコントロールすることで、国民が安心してサービスを利用できる環境を維持しています。
問2	答え 1 商品の希少価値が高まるため、価格が上昇する	市場経済における商品の価格は、需要量と供給量のバランスによって決定されます。災害や天候不順などで市場への入荷量（供給量）が減少した一方で、消費者が求める量（需要量）が変わらない場合、商品は不足状態となります。このとき、より高い価格を払ってでも手に入れようとする動きが働くため、価格は上昇します。逆に、供給量が増えれば価格は下落する関係にあります。
問3	答え 2 行政の役割を縮小し、市場原理に基づいた自由な経済活動を促して経済の効率性を高めるため。	経済のグローバル化や少子高齢化が進む中で、従来の行政による保護や制限が、かえって経済の成長を妨げる要因となる場合があります。そのため、行政が直接介入する範囲を狭め、民間の創意工夫や競争によって経済を活性化させようとする背景があります。
問4	答え 1 独占禁止法	特定の企業が市場を独占したり、複数の企業が話し合って価格を決めるカルテル（不当な取引制限）を行ったりすると、価格が高止まりし、消費者の不利益となります。この法律は、企業同士を健全に競わせることで、より良い商品やサービスが安く提供される仕組みを守る役割を果たしています。
問5	答え 1 円安の状態であり、支払額は変動前より2万円増える	1ドルの価値が100円から120円になることは、ドルに対して円の価値が下がったことを意味するため「円安」と呼びます。1,000ドルの商品を輸入する場合、以前は10万円（100円×1,000ドル）で済みましたが、変動後は12万円（120円×1,000ドル）必要になります。このように、円安が進むと輸入コストが上昇し、輸入企業や消費者にとっては負担増となる傾向があります。
問6	答え 1 流通コストを削減することで、商品の販売価格を抑えたり、商品の鮮度を維持したりするため	生産者から消費者に商品が届くまでの間に仲介する業者が少なくなれば、その分だけ中間マージンや輸送にかかる費用といった流通コストを削ることができます。また、仲介の手間が省けることで収穫から店頭へ並ぶまでの時間が短縮され、生鮮食品などの鮮度を高く保ったまま消費者に提供できるという利点があります。
問7	答え 1 供給量が増えることで商品が手に入りやすくなり、買い手が高い価格を支払う必要がなくなるため、価格が下落する	きゅうりなどの農産物において、旬の時期に入荷量（供給量）が急増すると、市場には商品が溢れる状態になります。買い手（消費者や小売店）にとっては入手が容易になるため、高い価格を出してまで競り合う必要がなくなり、結果として価格が下がります。このように、供給量の変動は市場価格を決定する重要な要因となります。
問8	答え 1 企業が提供する広告やブランドイメージよりも、SNSや口コミなどによる他者からの評判をより強く意識して判断する傾向がある。	2014年の消費者意識調査の結果では、消費者が商品を選ぶ際に「評判」を「ほとんど・全く意識しない」と答えた層の割合は、広告やブランドイメージに対する同様の回答層と比較して最も低くなっています。逆に「常に意識する」層の割合は高く、消費者が企業側の宣伝だけでなく、第三者の評価を主体的に活用している状況が示されています。